

おうちの図工室・美術室

魔法の白い粉

対象学年 中学校 1年生

想定時間 最低1時間～

題材の内容（子どもたちへ語りかける言葉の例）

真っ黒な紙に白い粉——。この白い粉から、どんな形を生み出せるでしょうか。ぱらぱらとふってみたり、ぎゅっ固めてみたり、指でスツとなぞってみたりすると、画面はどうなるのでしょうか。Ⅰ～Ⅲで示した黒と白の比率になるようにしてみてください。そして、自分が一番気に入った形を、写真で記録に残し、あなたがその作品を見て感じたことを題名にしてください。

- Ⅰ 黒 80% 白 20%
- Ⅱ 黒 50% 白 50%
- Ⅲ 黒 20% 白 80%

- 白い粉は、塩、砂糖、小麦粉、片栗粉でもなんでも構いません。
- Ⅰ～Ⅲの作品の題名とその題名をつけた理由も書いてください。
- 用紙の大きさや形は自由です。
- 提出日は〇月〇日の登校日です。でも、早く先生に見てほしい人は、写真にとって、下のアドレスまで添付で提出してください。そのとき、別の用紙に書く文章は打ち込んでくださいね。

ANCS としてのねらい

自己を深める

共感性

深く見つめる

社会への広まり

自己を深める

黒と白の良いバランスを考え、自分が面白いと感じる形を探ることは、自分の価値観を考える機会になります。

深く見つめる

素材の特徴を探り、新たな価値を見つける経験から、身の回りにあるものの価値に気づく姿勢を期待しています。

三観点

知識・技能

素材である「粉」の特徴をとらえることができる。

思考・判断・表現

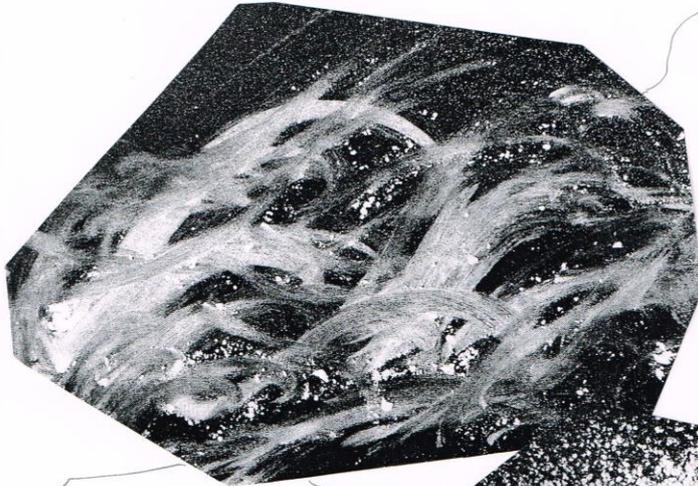
黒と白の比率による、視覚的な効果を考えて、自分なりのよさやうつくしさを生み出すことができる。

主体的に学習に取り組む態度

身近な素材の特徴や、そのよさを見つけて、自分の表現に生かそうとする。

おうちの図工室・美術室

活動の足あと・子どものことば



II 題名「荒波」

怖い海で感じが
いたからです。
早くいつもの海に
もどってほしい。

III 題名「嵐」

おまごころか
とんどん勢いを
ましていき波がた
いになったから



I 題名「その後」

ふわりあつた波が
とびかたいて感じが
かしたからです！



感想

私は粉ふりい小麦粉を糸にちらして
みました！最初は雪みたいでしたが、とんどん
指などすると、波みたいに見えてきました。

おうちの図工室・美術室

魔法の白い粉

年 組 番 氏名 _____



I 題名『 夜は満ちる 』

題名をつけた理由

この題名は、私の好きな小説のタイトルです。じんわりと広がる白が、小説の登場人物が抱える寂しさに似ていると感じたからこの題名にしました。



II 題名『 壊れる日常 』

題名をつけた理由

コロナが蔓延していく様子が、ちょっとずつ顔を殴られている感じに似ていると思います。そしてこの作品もそんな無力性を感じるのでこの題名にしました。



III 題名『 新惑星 』

題名をつけた理由

カメラを画面に近づけて撮影すると、別の星に降り立った初めての人間になったような感じがしたので、地球ではこんな場所なさそうです。

O 課題をして感じたことや考えたこと

黒い紙に一度粉を振りかけていくと、息で吹き飛ばしても、手でぬくいとって、もう二度とあのキラッとした黒には戻りません。課題を始める前の私にとっては、「ただの黒」でしたが、少しずつ白に侵食されていく黒は、とても美しいなと思う色になりました。そして、粉は私のちょっとした力加減で色んな形になり、想像以上に私の体とリンクする材料なんだなと思いました。